

Yokohama AEゼミ²⁰⁰⁹

1 概要

- 「アートー子どもー社会」、それらをつなぐツールとしての「教育」を対象にして実践的に活動する有志の研究会として、『AEゼミ (art education seminar)』を組織する。
- 学年を超えて、問題解決的に「つくる」活動を行う。
- 毎週金曜日4時限目に固定ゼミ時間を設けるが、対象となる現場の状況やメンバーのニーズによって、実践活動日はかわる。(主に木曜日や土日祝日)
- 活動内容にもよるが、活動成果はまとめて公表していく。

2 メリット

- ◎現代的な課題に対して、実践的・問題解決的に立ちあうことができる。
- ◎横国大の学校教育課程に所属している意義を最大限に活用できる。
- ◎子どもの世界とじっくり向き合える。(アート・エデュケーターとして)
- ◎自分の問題意識にもとづく活用が可能。(卒研, レポート, 教員採用試験…)
- ◎現場とのつながりをもてる。
- ◎自分探しの場として活用できる。

3 参加方法

- 大原則 = 有志のメンバーである (研究会)



- ・希望者は、メンバー登録する。(5参照)
- ・大泉研究室横の『AE掲示板』やメールにて、活動に関する連絡を受ける。
- ・自分自身の問題意識にあわせて、各種活動に参加する。(自主性の重視)
- ・学外での活動には、無責任な参加の仕方は慎むこと。

4 活動内容（一部）



（１）アート・ツール・プロジェクト

- ・子どもが実際からだで感じることから想像力を刺激する装置(アート・ツール)を製作・開発・実践する。
- ・昨年度課題ゼミにて実践してきたプロジェクトを継続的に開発・実践していく。
- ・オフィシャルな場に公開実践を展開していく。

（２）教員採用試験対策ゼミ

- ・特に４年生、M２年生を対象に、教員採用試験の自主的な勉強会の場を提供する。
- ・ちなみに、20年度ゼミ生の合格実績は、ほぼ100%（ゼミ生5名受験→4名合格・1名講師）
- ・3年生以下でも関心のある者は参加して、様子をうかがってよい。
- ・学部で開催される『キャリア開発講座』と連動して実施していく。

（３）各種研究会・シンポジウム、学会への参加（随時情報提供・お誘い）

- ・公開研究授業 ・民間の研究会 ・附属学校公開研究会 ・学会
- ・他大学の学生が参加していることも多く、“横のつながり”も得られる。

（４）美術館・地域施設での実践ボランティア活動・・・（１）と関連

- ・本年度は主に、（１）と関連させて実践していく見通し。

（５）教材・教具の開発研究・・・（１）と関連

- ・おもしろツール、メディア教具などを開発し、実際に使ってもらってその効果を検証する。
- ・図工の授業で扱う基本的な道具や材料に関する研究。（ハンドブックにして学校に配布）

（６）授業研究（附属学校、横浜市立小学校、川崎市立中学校で可能）

- ・アシスタントティーチャーとして授業に参画し、問題を協議する。
- ・一つの題材を複数人で繰り返し実践して、授業について考える。（19年度課題ゼミで実施）

（７）論文作成

- ・まとまった論文として、活動や研究の成果をまとめて公表するスキルを身につける。

5 希望する人は…

順
不
同

- ① 4月17日（金）14：40～（4限）【予定】に304教室にてオリテンを行う。
- ② メールにてメンバー登録する。

oizumi@ynu.ac.jp に、下記内容のメールを送る。

■タイトル；『AEゼミ』

■本文内容；① 学籍番号・氏名 ② 希望する活動や要望 ③ 携帯番号

- ③ 大泉研究室横の『AE掲示板』やメールによる連絡に応じて活動に参画する。